“支え合い・助け合い”の地域へ

4月19日　“助け合いの地域づくり”の勉強会を開催

“支え合い・助け合いの地域づくり”をテーマとする勉強会を、市民や医療・福祉機関関係者、市職員などの参加のもと、大仁くぬぎ会館で開催しました。

（公財）さわやか福祉財団の堀田力（つとむ）会長による講話の後、参加者でワークショップを実施。地域における支え合い活動が重要との報告を行いました。

◀参加者によるワークショップの様子

図書室の積極的な活用などを評価

4月27日　大仁中が読書活動での受賞を報告

大仁中が読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受け、相馬校長と仁科学校司書が報告に伊豆長岡庁舎を訪問しました。

この表彰は、子どもの読書活動推進に優れた実践を行っている学校などに対するものです。大仁中は、図書室の充実や授業への積極的な活用などが評価され、今年度、県内の中学校で唯一表彰されました。

賞状を手にする相馬校長（中央）と仁科学校司書（右）▶

市内の観光スポットが丸わかり

4月29日　観光案内サイト「Guidoor」オープン

（一財）モバイルスマートタウン推進財団（代表理事：志太勤氏）が主体となり、観光案内サイト「Guidoor（ガイドア）」を開設しました。

三島市に次ぐ全国２番目として、社会実験を伊豆の国市で実施。韮山反射炉や江川邸などの市内観光スポットに看板やビーコンを設置し、全８カ国語の多言語対応のサイトで、観光客を案内します。

Guidoor
QR コード
https://www.guidoor.jp/city/izunokuni/

◀江川邸では表門などに看板を設置

伊豆の新たな道の駅がオープン

5月1日　伊豆ゲートウェイ函南がオープン

道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」がオープンしました。オープン当日は、さまざまなイベントや伊豆の国市を含む伊豆半島の自治体による物産販売なども行われ、にぎわいを見せていました。

伊豆の国市からは伊豆中央道を通ってすぐ。車での利用はもちろん、歩行者や自転車利用者も立ち寄りやすい道の駅となっています。

多くの人が訪れたオープン当日の様子▶

小田原で伊豆の国市を PR

5月3日　北條五代祭りに伊豆の国市隊が参加

小田原市の「第53回北條五代祭り」に、伊豆の国市手作り甲冑隊が参加しました。

市民、劇団いず夢、市職員などからなる28人の伊豆の国市隊は、「五代北条氏直隊」の「韮山城主北条氏規隊」としてパレードに参加。大観衆の見守る中を練り歩きながら、「ことりっぷ伊豆の国」を配布し、伊豆の国市のPRも行いました。

パレードで小田原のまちを歩く伊豆の国市隊▶

生涯学ぶ“きっかけ”を提供

5月13日　生涯学習きっかけ作り塾開講式を開催

生涯にわたって学び続けるきっかけを提供する生涯学習きっかけ作り塾。今年度の合同開講式をアクシスかつらぎで開催しました。

各講座と講師の紹介、全体オリエンテーションを行った後、講座ごとの説明会を実施しました。今年度は28の講座を延べ422人が受講。1年間受講した成果を、3月に合同発表会でお披露目します。

◀各講座に分かれて講師による説明

狩野川の水害に備えて

5月14日　狩野川連合総合水防演習を開催

「狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」を、三島市長伏の河川敷で開催しました。

水防技能の習熟や関係機関の連携などを目的とし、狩野川流域の5市3町や国土交通省、静岡県、自衛隊などの関係機関から約900人が演習に参加。土のうを用いた水防工法や各種防災機器を用いた活動、作業などの実演を行いました。

伊豆の国市消防団も水防工法の実演で参加▶

「思索の道」の理解を深めるため

5月15日　「花のおもてなし」のワークショップを実施

花で観光客をおもてなししようと取り組む「花のおもてなしプロジェクト」が、ワークショップを実施しました。

同ワークショップは「坦庵公思索の道」の清掃活動などを行っています。今回はハイキングをしながら、道中にある花や石像などを説明する看板をどのように設置するか、などの確認をしました。

◀確認をしながらハイキングをする参加者たち